

シリーズ 人権・じんけん (89)

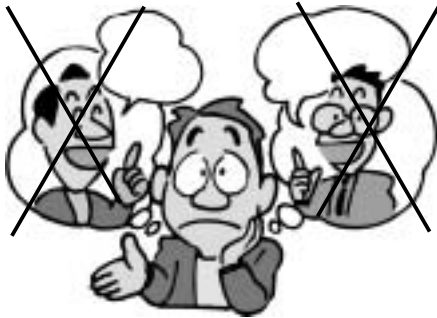
「個人情報」を知らせたり漏らしたりしていませんか？

私たちの個人情報、知らず知らずのあいだに、他人に流れていることがあります。

私たちは自動車を購入したり、冷蔵庫などのような大型電化製品を買ったりすると、いろいろな書類を書きます。このような時に記入するものに、氏名・住所・生年月日・電話番号などがあります。



自分の個人情報を記入するときは慎重に!!



他人のプライバシーをむやみに他人に話してはいけません!!

しかし、中には直接関係の無い、子どもの名前や生年月日など家族欄の記入を求められるものもあります。

またセールスをする人から気軽に声をかけられ、「健康維持に役立つ福祉機器を見てもらいたいの」で、高齢の方はいらしゃいませんか」と聞かれて、つい近所の高齢者の名前を教えたりすることや、新しくできたお店から「開店セールで割引券をお配りしているが、何人家族でしょうか?」と聞かれたりすることもあつてあります。

このように、私たちは無意識のうちに関わらず他人の個人情報を他に流したり、漏らしたりしてしまうことがあります。

「個人情報」とは、個人に関する情報であつて、その情報に含まれる氏名・生年月日・その他のいろいろなデータを言います。プライバシーとの関係で、個人情報はコンピューターの発展にしたがつて重要視されるようになってきま

した。

私たちは、いろいろな契約やアンケート・通信販売などの中で、自分の個人情報を少しずつ出すことがあります。これらの情報は、コンピューターが無い時代はバラバラの情報でしかなかったのです。

しかしコンピューターでは、これらの情報を簡単にまとめることができます。土地・自動車・保険などの契約書、通信販売の申し込み、アンケートで答えた好きな食べ物・将来の夢・趣味など、別々の個人情報

が簡単に結合されるあらゆる個人情報を集積することができるようになり、いろいろな場面で利用されているようです。場合

によっては悪用されている可能性もあります。

それぞれが自分や他人の情報を守ることに厳しく目をむけ、個人情報やプライバシーをむやみに知らせたり、漏らしたりしないように気をつけたいものです。

(参考)『知っていますか? インターネットと人権』高木 寛著 解放出版社)

